プロジェクトマネジメント演習

コスト見積書

2016年5月20日

ユーザ　　　　　　：　堀内　俊幸　様

シニアマネジャー　：　矢吹　太朗

矢吹研A班

メンバ

1442043　川崎貴雅（PM）

1442012　岩瀬　翔

1442020　大木崇雅

1442031　小山隆太郎

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| PM承認印 | シニア承認印 | ユーザ承認印 |
|  |  |  |

# 人件費見積り

プロジェクト全体の人件費は時給制とし，ボトムアップ見積法を用いて算出する．

プロジェクトマネジャー（PM）：時給（7,000円）×　計画稼働時間

メンバ（1人あたり） ：時給（5,000円）×　計画稼働時間

稼働時間を8週間 × 10時間 ＝ 80時間として，上記の算出方法で計算した人件費見積りを表1に示す．

表 1　人件費見積り

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| メンバ | 時間（h） | 人件費（円） |
| 川崎　貴雅（PM） | 80 | 560,000 |
| 岩瀬　翔 | 80 | 400,000 |
| 大木　崇雅 | 80 | 400,000 |
| 小山　隆太郎 | 80 | 400,000 |
| 合計 | 320 | 1,760,000 |

# 製品開発費

製品開発費はプロジェクト計画書のコストマネジメント計画に記載されたコスト見積もりから，上記人件費を差し引いたものとする．

2,860,000（円）　－　1,760,000（円）　＝　1,100,000（円）

上記の根拠として製品開発費を外部設計書に記載されている想定規模の2,220行で割り，プログラム1行あたりの費用を出す．

　　1,100,000（円）　÷　2,220（行）　≒　495（円）

　　495（円）　×　2,220（行）　＝　1,098,900（円）

　　1,100,000（円）　－　1,098,900（円）　＝　1,100（円）

未経験な作業に対する準備や想定外の遅延を考慮し，残りの1,100円は予備費とする．

# コンティンジェンシー予備費

コンティンジェンシー予備費は，人件費と製品開発費の合計10%である286,000円とする．

コンティンジェンシー予備費は，使用されなかった場合，返却されるものとする．

# 利益

利益は総額の10%である286,000円とする．

# 合計金額

コスト見積り合計金額を表2に示す．

表 2　コスト見積り合計金額

|  |  |
| --- | --- |
| 人件費見積り | 1,760,000円 |
| 製品開発費 | 1,100,000円 |
| コンティンジェンシー予備費 | 286,000円 |
| 小計 | 1,386,000円 |
| 利益 | 286,000円 |
| 合計 | 1,414,600円 |